

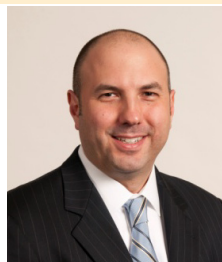


資源株ファンド 通貨選択シリーズ

<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>
(毎月分配型)

原油価格の持ち直しとともに期待高まる資源株 ～注目分野と組入上位銘柄のご紹介～

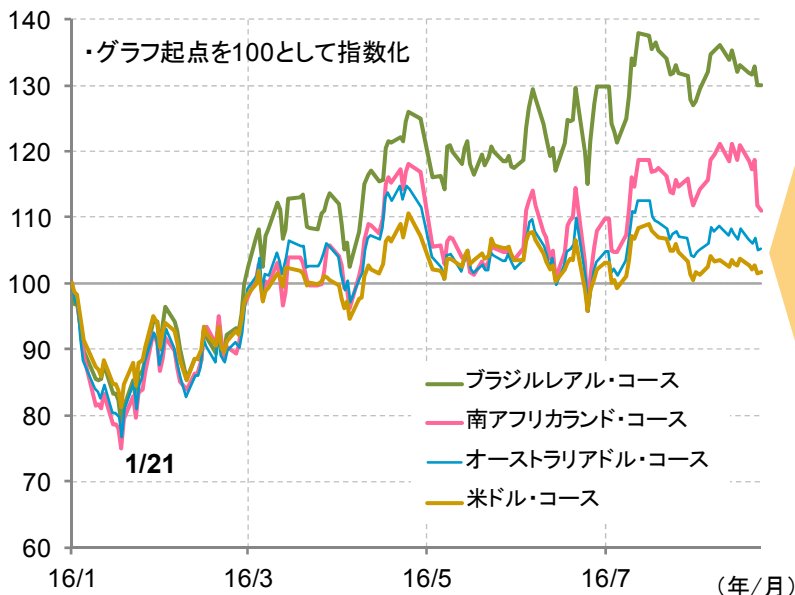
- 2016年に入り、原油価格は需給改善期待を背景に大きく上昇し、6月上旬には、2015年7月以来となる1バレル=50米ドル台(WTIベース)まで回復しました。こうしたなか、資源株および資源国通貨も上昇傾向となりました。6月下旬には、英国のEU(欧州連合)離脱選択などの影響を受け、変動が高まる場面もみられたものの、足元では底堅く推移しています。
- 本レポートでは、資源株を取り巻く環境や、当ファンドの注目分野と、関連する組入上位銘柄について、運用者のコメントをご紹介します。



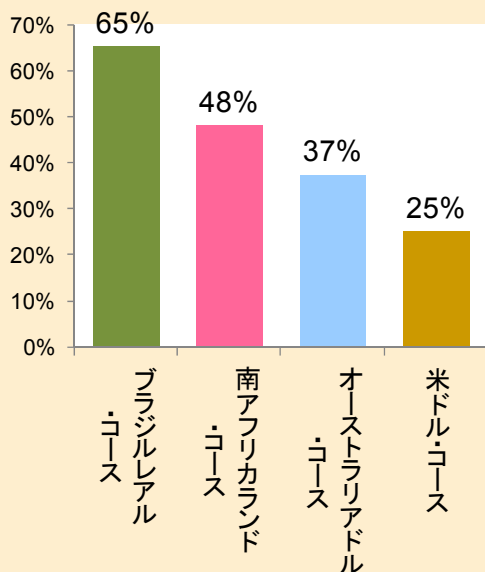
日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
シニア・ポートフォリオ・マネージャー
ダニエル・フォーギヤー

2016年に入り、力強い上昇をみせる資源株

<各コースの基準価額(税引前分配金再投資ベース)の推移>
(2016年1月初～2016年8月26日)



<1月の安値からの騰落率>
(2016年1月21日～2016年8月26日)



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

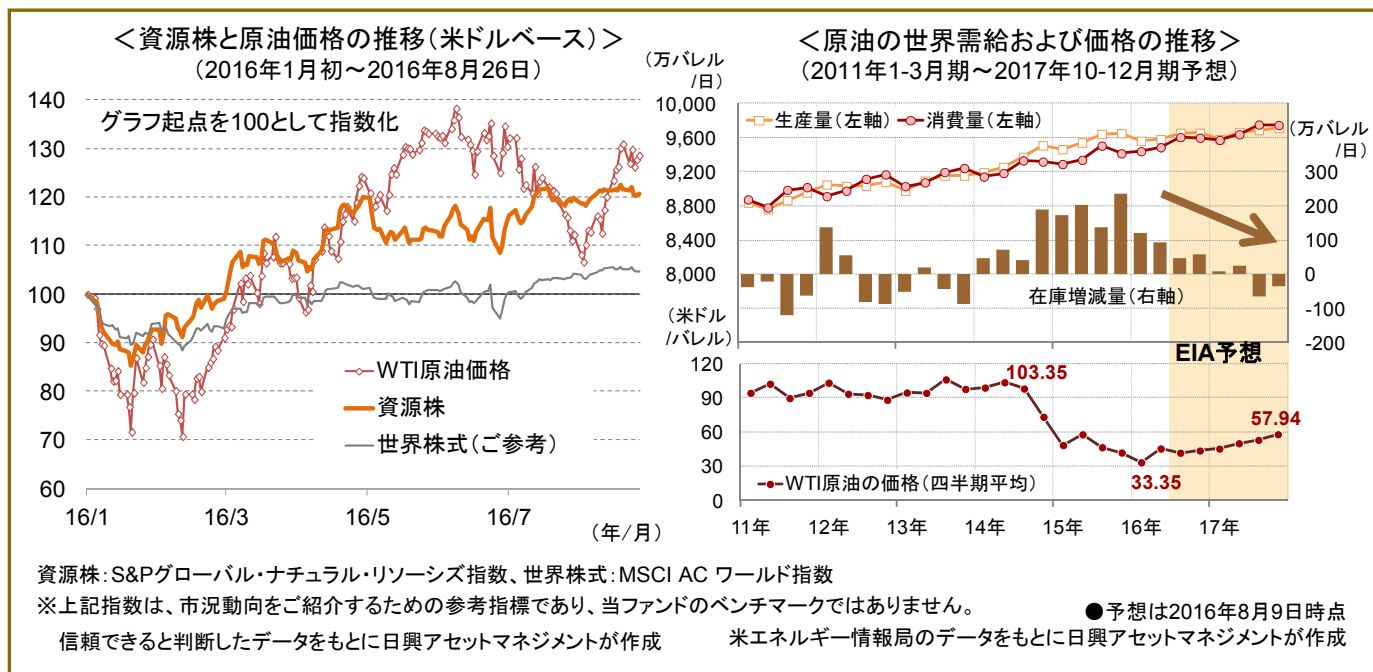
※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

需給改善が資源株の上昇期待を後押し

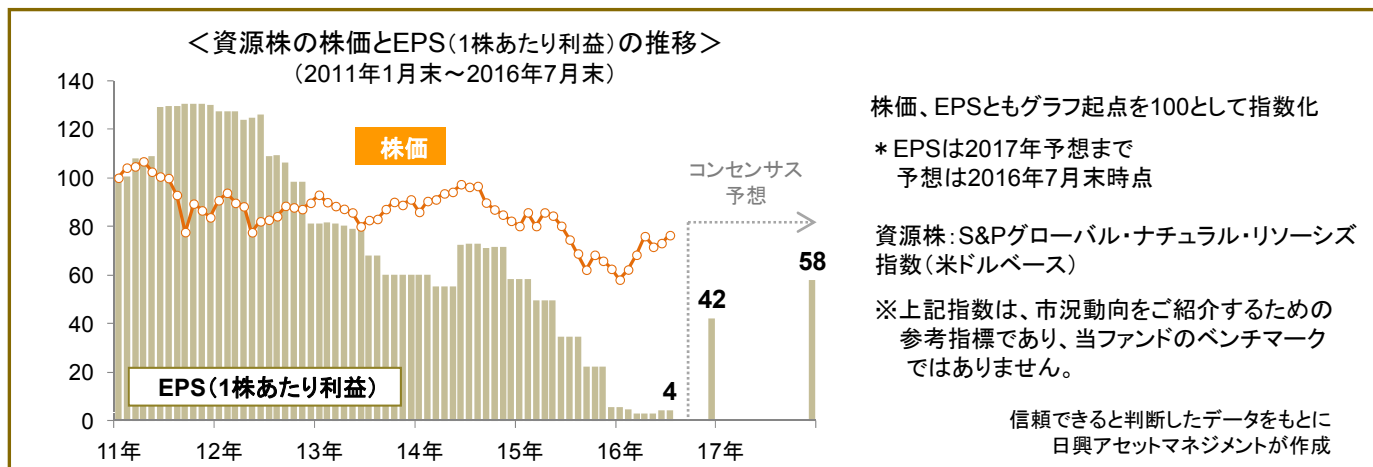
■ 原油需給は2017年にかけて改善の見通し

米EIA(エネルギー情報局)の短期見通しによると、原油需給の改善傾向が見込まれています。需要面では、中国やインドを中心に、生活水準の向上などを背景とした需要の増加基調が続くとみられます。供給面でも、17年後半には在庫減少に転じるとの見通しとなっており、需給改善とともに原油価格の上昇が期待されます。



■ 期待される資源株の業績拡大

資源関連企業は、石油メジャーを中心に、積極的なコスト削減やM&A(合併・買収)を通じ、財務基盤の強化や事業効率化を進めており、原油価格の回復局面では、業績回復・拡大ペースがより高まることが期待されます。今後は、原油需給や企業業績の改善期待とともに、資源株が投資家の注目を集めると期待されます。



※上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの注目分野と組入上位銘柄のご紹介①

<注目分野>

総合石油・ガス

■ 事業効率化により収益性の向上が期待される

川上から川下まで様々な事業を行なっていることから、原油価格に対する感応度は相対的に高くない傾向にあり、石油業界の中では、ディフェンシブなセクターと考えています。同セクターの企業は、石油メジャーを中心に、原油安の環境下で設備投資の削減を推し進めてきており、収益性の向上が期待されます。

ロイヤル・ダッチ／シェル（オランダ／英国）

- 同社は、石油の探査・生産・精製のほか、石油製品の製造・販売など、多岐にわたる石油関連事業を、子会社を通じて世界中で行なっています。
- 財務の健全性は高い水準にあり、石油・天然ガス大手・英BGグループの買収や、設備投資の縮小などにより、今後はキャッシュフローの増加が期待されます。

エネルギー株



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

<注目分野>

装置・サービス

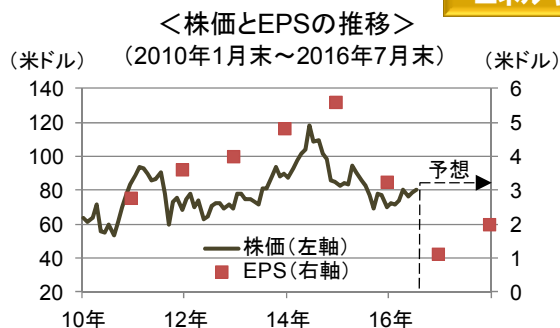
■ 原油価格の上昇による恩恵が大きい

同セクターは、原油価格の値動きに対して高い感応度を示す傾向にあるため、原油価格が上昇すれば、その恩恵を特に大きく受けると期待されます。今後、原油価格の安定化、あるいは上昇の継続によって、シェール企業などの生産活動が回復し始めた場合、最も利益を享受するのが同セクターであると考えています。

シュルンベルジェ（米国）

- 同社は、世界中の石油・ガス探査・開発企業に対し、テクノロジー、統合プロジェクト管理、情報ソリューションなど、幅広いサービスを提供しています。
- 強固な財務基盤を活かし、同社ビジネスを補完する掘削機器メーカーを買収しており、サービスラインナップの拡充を通じ、市況変化への対応をめざしていると考えられます。

エネルギー株



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※米国上場以外の銘柄の株価推移は、ADRの値を表示しています。EPSは会計年度末値ベースで、予想は2016年7月末時点のコンセンサス予想

上記は、情報提供を目的として2016年7月末時点の当ファンドの主要投資対象である外国投資信託の組入上位銘柄について、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクからの情報をもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの注目分野と組入上位銘柄のご紹介②

<注目分野>

銅

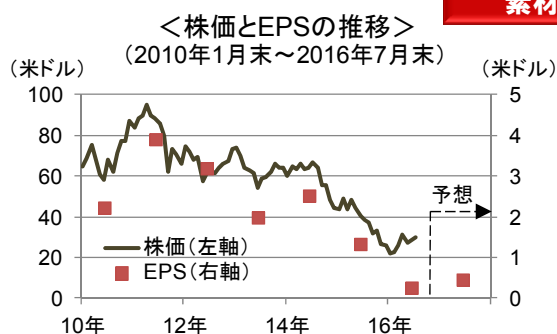
■ 中長期的には需給改善が見込まれる

今後、銅は世界的な需要増加が見込まれる一方、供給面では、現在操業している鉱山の品質低下や、良質な鉱山発見が遅れていることなどを背景に、構造的な供給不足が見込まれています。こうしたことから、短期的にはやや供給過剰が見込まれるものの、中長期的には、需給改善とともに銅価格の上昇が期待されます。

BHPピリトン（英国／オーストラリア）

- 世界最大級の鉱業会社である同社は、低コストの鉄鉱石や銅に加え、石油・ガスビジネスなど幅広い資源分野で事業を構成しています。こうした低コストかつ長期にわたる資産構成は、同社の強みとなっています。
- 同社は、銅の事業比率が相対的に高く、将来的な収益基盤の確保に向け、戦略的に銅の生産量を増加させることをめざしています。

素材株



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

<注目分野>

金

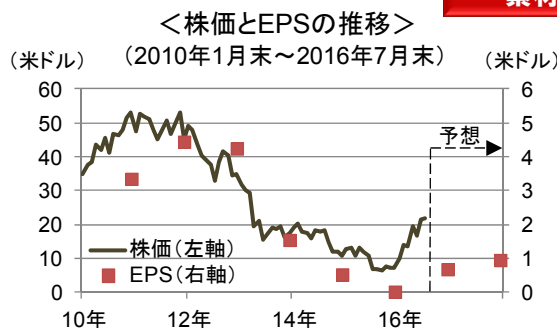
■ 安全資産として需要の高まりがみられる

2016年に入り、投資家のリスク回避的な動きが広がるなか、金は安全資産としての需要が高まっており、足元で金価格は上昇傾向にあります。特に、ETF(上場投資信託)を通じた金の保有が増えており、金価格への影響が大きくなっています。今後も、こうした資金流入などを背景に、金価格は堅調な推移が期待されます。

バリック・ゴールド（カナダ）

- 同社は、米国やアルゼンチンなどで金地金を生産する、世界最大の産金会社です。各地に保有する良質な金鉱山からキャッシュフローを得ています。
- また、過去数年間、資産売却やコスト削減、キャッシュフローの創出などを通して、バランスシートの健全化が進められています。

素材株



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※米国上場以外の銘柄の株価推移は、ADRの値を表示しています。EPSは会計年度末値ベースで、予想は2016年7月末時点のコンセンサス予想

上記は、情報提供を目的として2016年7月末時点の当ファンドの主要投資対象である外国投資信託の組入上位銘柄について、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクからの情報をもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

(ご参考)資源関連企業の直近決算について

エネルギー

減益傾向ではあるものの、川上企業を中心に業績底打ちの兆し

- 2016年4-6月期の決算は、石油メジャーを中心に、多くの総合石油企業で市場予想を下回る内容となりました。なかでも、精製などの川下部門の不調が影響しました。原油価格が回復基調となるなか、シェア維持を重視した精製会社が稼働率を高水準に維持し、過剰に生産を行なったことなどを背景に、石油製品の需給が悪化し、マージンの縮小につながったことが、川下部門の収益を押し下げる要因となりました。
- 一方で、探査・掘削などの川上企業については、営業コストの削減などを背景に、収益性の改善がみられ、原油価格が大きく回復しなくても収益を生み出す体制が整ってきたと言えます。また、「装置・サービス」分野では、市況が回復しつつあるなかでも、大幅な人員削減などのコスト削減を続けたことが奏功し、決算内容が市場予想を上回った企業もみられ、業績の底打ち期待が拡がりつつあります。

素材

資源価格の下落が重石となるも、収益性の改善が進む

- 鉱山系メジャーなどの素材企業の決算は、これまでの資源価格の下落などが重石となり、前年同期比では減益となる傾向がみられました。しかし、2016年に入り、鉄鉱石や金の価格が上昇傾向となったことがプラスに働いており、決算内容が市場予想を上回った企業もみられました。また、コスト削減や非中核事業の売却により収益性の改善が進んでいます。

※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

＜当ファンドの組入上位銘柄の直近決算＞
(2016年4-6月期*)

	銘柄名	業種	当期純利益**	前年同期比	市場予想との比較	配当利回り
1	BHPビリトン	素材	12.2 億米ドル(注1)	-82.9%	↑	7.5%
2	ロイヤル・ダッチ/シェル	エネルギー	10.5 億米ドル	-72.8%	↓	6.9%
3	エクソンモービル	エネルギー	17.0 億米ドル	-59.4%	↓	3.3%
4	トタル	エネルギー	21.7 億米ドル	-29.5%	↑	5.6%
5	モンサント	素材	9.6 億米ドル(注2)	-16.3%	↓	2.0%
6	リオ・テント	素材	15.6 億米ドル(注3)	-46.5%	→	4.3%
7	バリック・ゴールド	素材	1.6 億米ドル	163.3%	→	0.4%
8	インターナショナル・ペーパー	素材	3.8 億米ドル	-7.3%	↑	3.5%
9	シュルンベルジェ	エネルギー	3.2 億米ドル	-71.9%	↑	2.4%
10	シェブロン	エネルギー	9.1 億米ドル	-41.7%	↑	4.2%

* 決算期が異なる一部企業を除く (注1)2015年7月～2016年6月の通期 (注2)2016年3-5月期 (注3)2016年1-6月期

** 一部項目を除いた調整後純利益

※組入上位銘柄は2016年7月末時点、配当利回りは2016年8月26日時点

※市場予想との比較は、市場予想値との差が0.1億米ドル以下の場合、「→」(予想と一致)としています。

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、当ファンドにおける将来の組入れまたは売却を保証するものでもありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

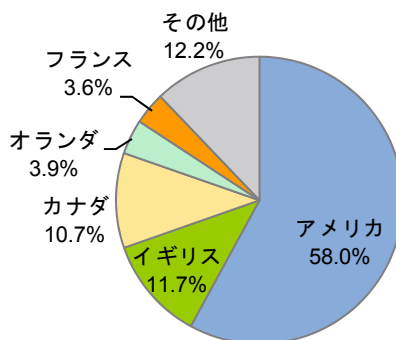
※以下は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」のポートフォリオの内容です。

ポートフォリオ概要 (2016年7月末現在)

業種比率

業種	比率
エネルギー	49.0%
素材	46.8%
金融 (REIT)	2.3%

国別株式組入比率



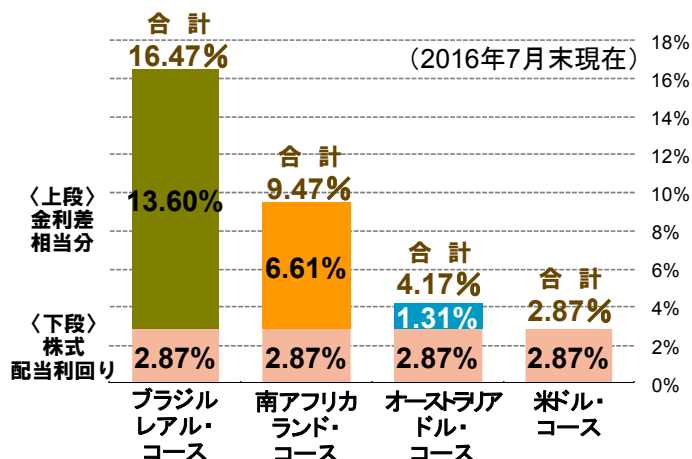
株式組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	BHPピリトン	イギリス	素材	4.65%
2	ロイヤル・ダッチ/シェル	オランダ	エネルギー	3.92%
3	エクソンモービル	アメリカ	エネルギー	3.69%
4	トタル	フランス	エネルギー	3.60%
5	モンサント	アメリカ	素材	3.25%
6	リオ・テイント	イギリス	素材	3.22%
7	バリック・ゴールド	カナダ	素材	2.96%
8	インターナショナル・ペーパー	アメリカ	素材	2.90%
9	シュルンベルジェ	アメリカ	エネルギー	2.80%
10	シェブロン	アメリカ	エネルギー	2.59%

【銘柄数:72銘柄】

※上記比率は、「ナチュラル・リソース・ファンド」の組入株式評価総額に対するものです。
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、合計が100%にならない場合があります。

【ご参考】株式配当利回りと各通貨の金利差相当分



※金利差相当分:ブラジルリアル短期金利(1ヵ月国債利回り)、南アフリカランド短期金利(ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリッド・レート1ヵ月)、オーストラリアドル短期金利(1ヵ月物銀行手形金利)から、それぞれ米ドル金利(1ヵ月LIBOR)を差し引いて算出。
株式配当利回り:「ナチュラル・リソース・ファンド」の株式配当利回り
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、それをを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
※金利差相当分は、各資源国通貨と米ドル間の金利差水準によっては為替取引によるコストとなり、運用成果にマイナスに働くこともあります。
※実際の運用においては、為替取引時の手数料相当額などが金利差相当分に加味されます。

日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

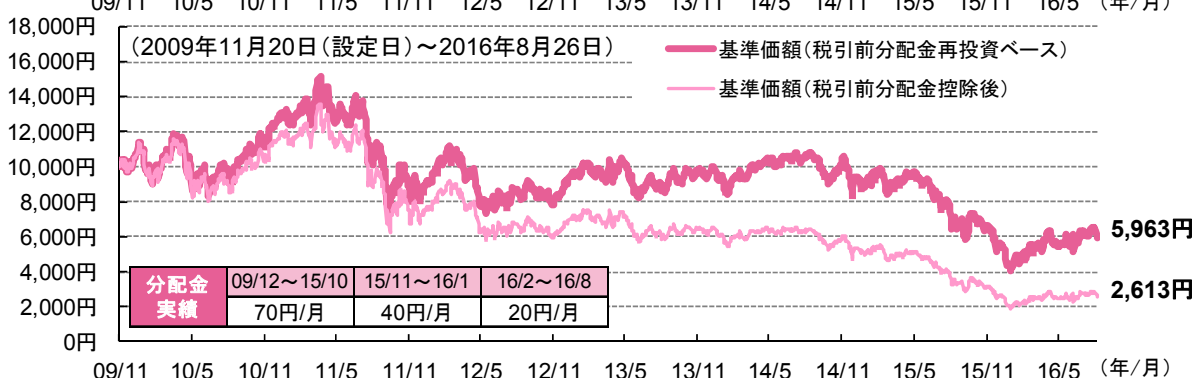
■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額と分配金の推移

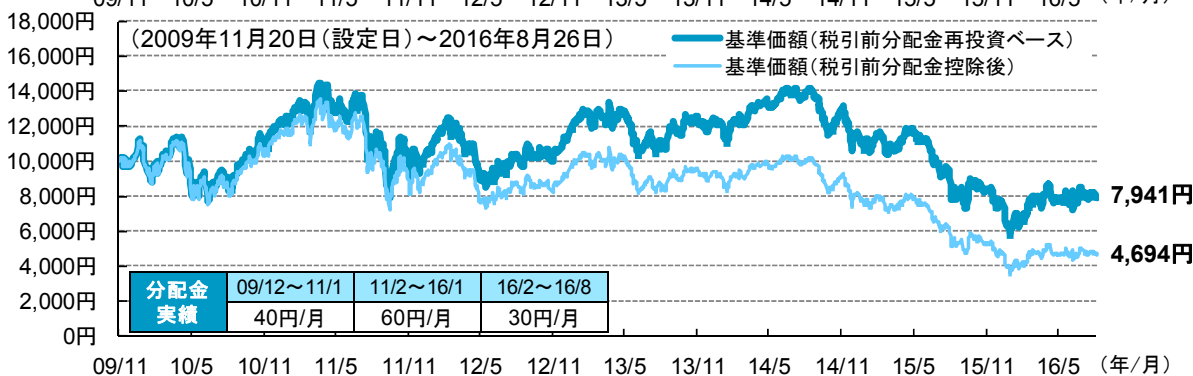
ブラジル リアル・ コース



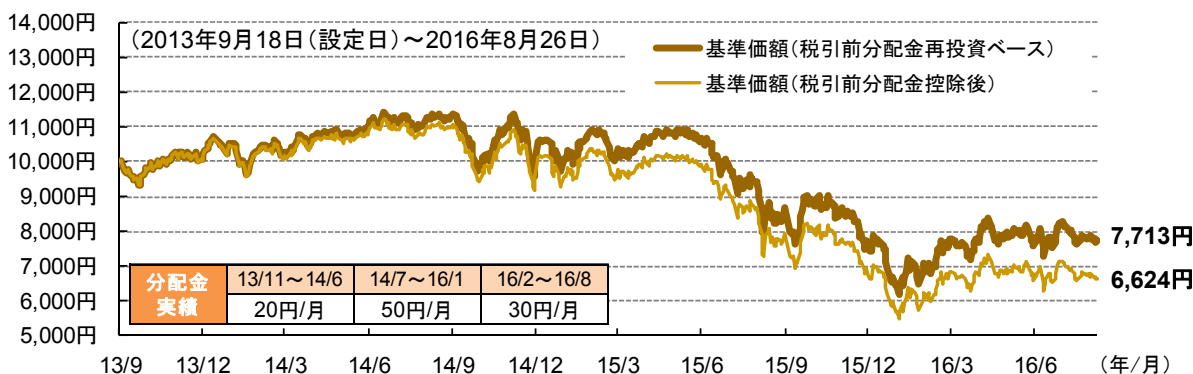
南アフリカ ランド・ コース



オーストラリア ドル・ コース



米ドル・ コース



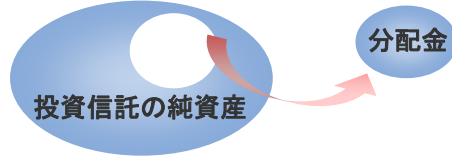
※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※ 基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>（毎月分配型）」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

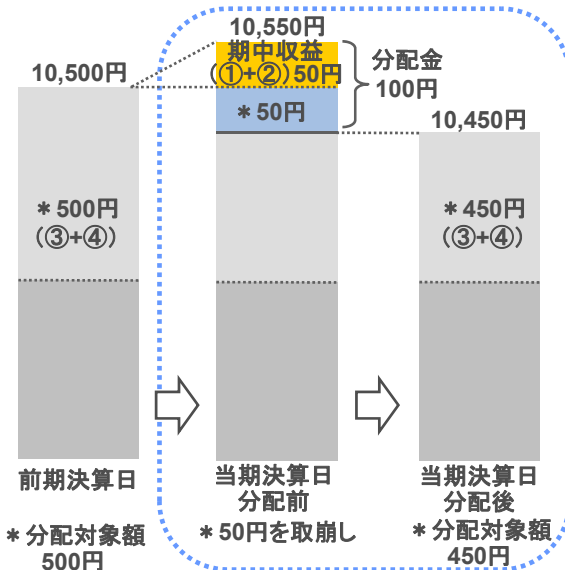
投資信託で分配金が支払われるイメージ



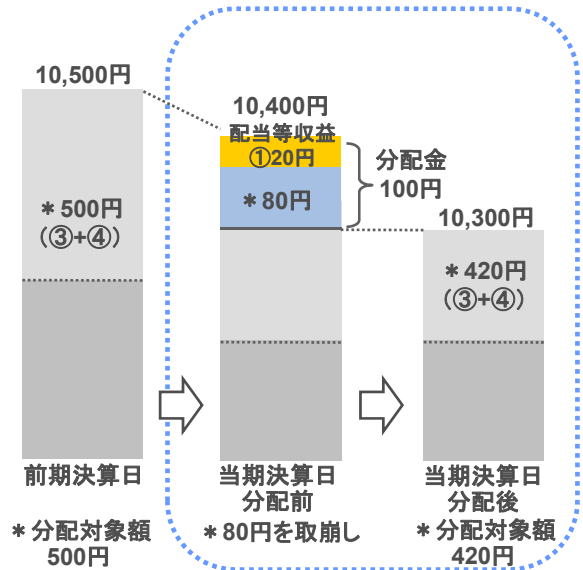
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



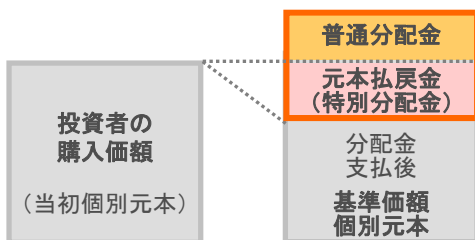
前期決算から基準価額が下落した場合



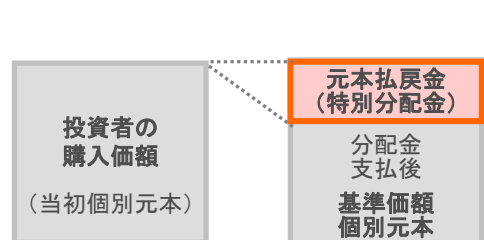
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかつた場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

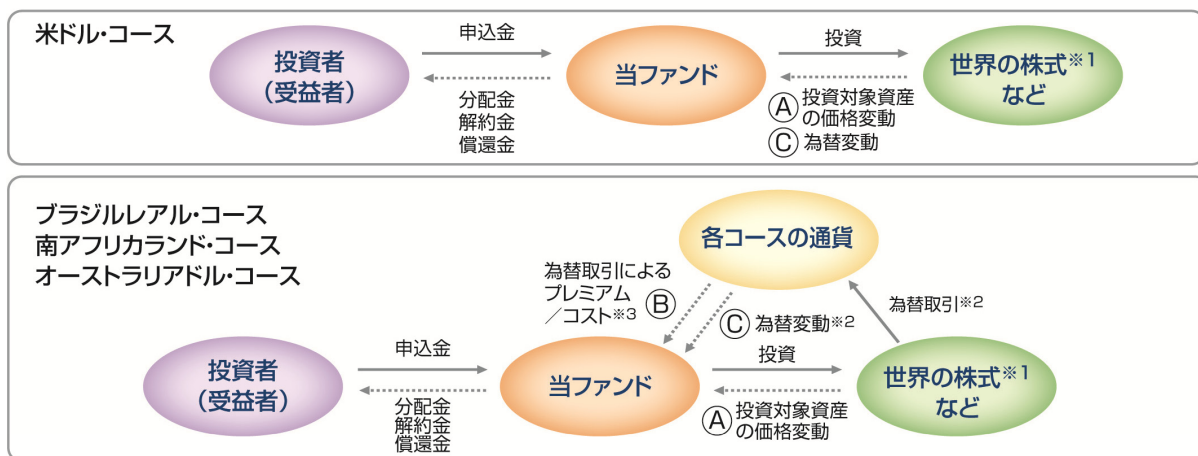
普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 当ファンドは、外国投資信託を通じて世界の株式に投資を行いません。

※2 各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。

※3 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉		=	(A) 株価の値上がり/値下がり	+	(B) 為替ヘッジプレミアム/コスト	+	(C) 為替差益/差損
米ドルコース	収益を得られるケース		株価の上昇*		為替ヘッジを行なわないのでありません。		為替差益の発生 原資産通貨に対して 円安
	損失やコストが発生するケース		株価の下落*			為替差損の発生 原資産通貨に対して 円高	
収益の源泉		=	(A) 株価の値上がり/値下がり	+	(B) 為替取引によるプレミアム/コスト	+	(C) 為替差益/差損
ブラジルリアルコース 南アフリカランドコース オーストラリアドルコース	収益を得られるケース		株価の上昇*		プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの通貨の金利 - 米ドル金利が プラス		為替差益の発生 各コースの通貨に対して 円安
	損失やコストが発生するケース		株価の下落*		コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの通貨の金利 - 米ドル金利が マイナス		為替差損の発生 各コースの通貨に対して 円高

*ADRに投資する場合、ADRの価格には、当該現地株式の通貨に対する米ドルの変動が含まれます。そのため、当該現地株式の通貨に対して米ドル安であれば、株価上昇要因、当該現地株式の通貨に対して米ドル高であれば、株価下落要因となります。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。
- 為替取引には、為替ヘッジ(原資産通貨を売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム/コスト」を「為替ヘッジプレミアム/コスト」といいます。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース><南アフリカランドコース><オーストラリアドルコース><米ドルコース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
 2. 「ブラジルリアル・コース」「南アフリカランド・コース」「オーストラリアドル・コース」「米ドル・コース」の4つのコースがあります。
 3. 毎月、収益分配を行なうことをめざします。
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。
- 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式(預託証券を含みます。以下同じ。)を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
[コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	

(50音順、資料作成日現在)

お申込メモ

- 商品分類 追加型投信/内外/株式
- ご購入単位 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 【ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース】
2024年6月17日まで(2009年11月20日設定)
【米ドル・コース】
2024年6月17日まで(2013年9月18日設定)
- 決算日 毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い 原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.78%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬 純資産総額に対して年率1.79%(税抜1.71%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.08%(税抜1%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

その他費用 【ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース】
目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

【米ドル・コース】

目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。